

製品名	診療報酬上の先発・代表薬剤	自社製品の効能・効果等	診療報酬上の先発・代表薬剤のみの効能・効果等
イマチニブ錠100mg「EE」	グリベック®錠	<ul style="list-style-type: none"> 慢性骨髄性白血病 フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病 	<ul style="list-style-type: none"> KIT (CD117) 陽性消化管間質腫瘍 FIP1L1-PDGFR α陽性の下記疾患 好酸球増多症候群、慢性好酸球性白血病
ドネペジル塩酸塩ODフィルム3mg「EE」 ドネペジル塩酸塩ODフィルム5mg「EE」 ドネペジル塩酸塩ODフィルム10mg「EE」	アリセプト® D錠	アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制	レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制
ピタバスタチンCa錠1mg「EE」 ピタバスタチンCa錠2mg「EE」	リバロ錠	<p>《用法・用量》 通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1～2mgを1日1回経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。</p>	<p>《用法・用量》 高コレステロール血症 通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1～2mgを1日1回経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。 家族性高コレステロール血症 成人：通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1～2mgを1日1回経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。 小児：通常、10歳以上の小児にはピタバスタチンカルシウムとして1mgを1日1回経口投与する。 なお、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日2mgまでとする。</p>
プラミベキソール塩酸塩錠0.125mg「EE」 プラミベキソール塩酸塩錠0.5mg「EE」	ビ・シフロール®錠	パーキンソン病	中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)
モサブリドクエン酸塩錠2.5mg「EE」 モサブリドクエン酸塩錠5mg「EE」	ガスモチン®錠	慢性胃炎に伴う消化器症状(胸やけ、悪心・嘔吐)	経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸X線造影検査前処置の補助
フルボキサミンマレイン酸塩錠25mg「EMEC」 フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「EMEC」 フルボキサミンマレイン酸塩錠75mg「EMEC」	デプロメール®錠 ルボックス®錠	<p>《用法・用量》 通常、成人にはフルボキサミンマレイン酸塩として、1日50mgを初期用量とし、1日150mgまで増量し、1日2回に分割して経口投与する。 なお、年齢・症状に応じて適宜増減する。</p>	<p>《用法・用量》 成人への投与： ・うつ病・うつ状態、強迫性障害、社会不安障害 通常、成人には、フルボキサミンマレイン酸塩として、1日50mgを初期用量とし、1日150mgまで増量し、1日2回に分割して経口投与する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減する。 小児への投与： ・強迫性障害 通常、8歳以上の小児には、フルボキサミンマレイン酸塩として、1日1回25mgの就寝前経口投与から開始する。その後1週間以上の間隔をあけて1日50mgを1日2回朝及び就寝前に経口投与する。年齢・症状に応じて1日150mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として25mgずつ行うこと。</p>

● 詳細は製品添付文書でご確認ください。